

花岡住民協議会 たより

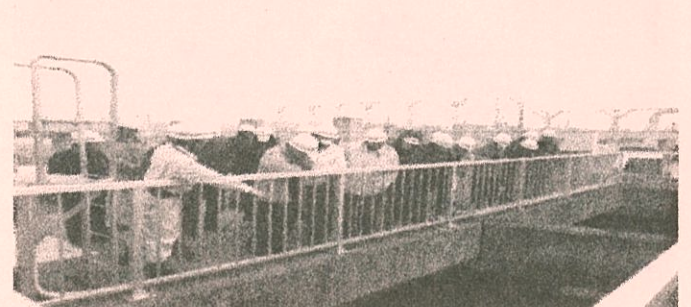
平成28年4月号 No.33
事務局：花岡地区市民センター内
TEL 23-3002 / FAX 21-2274

回 覧					

環境安全部会主催◆◆市政バスによるごみ処理施設見学を実施しました◆◆

花岡地区自治会長さんを中心に19名のご参加をいただき、市政バスを利用した市内にある公的施設・設備の見学を去る2月22日(月)に実施しました。

見学は「一般廃棄物最終処分場」(上川町)「松阪浄化センター」(高須町)「松阪市クリーンセンター」(桂瀬町)の三カ所を回りました。①一般廃棄物最終処分場では28年2月現在、埋立処分地は65%が埋立てられ、後10年位は余裕があるとの説明でした。②「松阪浄化センター」では区域の生活環境の改善や水質汚濁を防止するため、中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)の整備事業を行っており、下水道普及率は全国の77.6%に対し松阪市は50.2%にすぎないとの報告がありました。下水道があるとどうなるかでは ①汚水が集められ町がきれいになる ②トイレが水洗式になる ③大雨による排水を良くし浸水から町を守る ④水が浄化され川や海が蘇るとの説明がありました。最後に訪問した桂瀬町の松阪市クリーンセンターは、環境型社会形成の拠点として、地域住民の快適な暮らしを支えるため、老朽化した施設を更新し、処理施設の一元化と資源化の推進を目的に新設され平成27年4月より共用を開始したすばらしい新施設です。ごみを減らすための3つのキーワード3R ① Reduce (減量する) ② Reuse (繰り返し使う) ③ Recycle (再資源化する) に取り組みごみを減量することが大切であることを再認識しました。いずれの施設も地域の理解と協力をいただかないと成り立たぬことであると感謝の意を表して見えました。ご参加いただきました皆様、学ばれましたことを地域の中で環境づくりの一環として広げていただければと願っています。ご参加の皆様ありがとうございました。



環境安全部会主催 ◆◆ 『防災講演会』 を開催しました ◆◆

松阪市防災訓練センターの職員3名を講師に招き、3月15日（火）「その時どうする地震に対する備え」という演題のもと防災講演会を開催しました。

南海トラフ巨大地震はいつ起きても不思議ではない状態であり、地震発生時には死者が32万3千人出ると予想されている。大規模災害発生時に備え普段から検討しておくことが重要であるということでした。日ごろからの準備として①「必需品」を検討する②「非常持出し品」を手近に備える③数日間は各戸の「備蓄品」で乗り切る等が減災のポイントであると教えていただきました。その後、非常時における携帯電話の使用について、伝言ダイヤルセンター（171）への接続方法について参加者は携帯電話を使ってその操作を確認しました。ご参加いただいた皆様、学んだことを上手に活かしていただければと願っています。



花岡公民館主催★★ 『男の料理教室』 ★★を開催しました

鮮魚店・魚繁店主の西本忠義さんを講師に招き「男の料理教室」を3月17日（木）に開催し「プロによる魚のさばき方」の手ほどきを受けました。材料は西本さんが朝から市場で仕入れてきたイワシやアジ、イカ、エビなどの魚を使用しました。作業はいわしの頭を落として、はらわたの取り方や、イカをさばいて刺身やぬたにしたり、わたを使った塩辛づくりです。いつも食している食材ばかりなのに調理するとなると、受講者らは悪戦苦闘でした。細かなところは随時アドバイスを受け、慣れない手つきで一生懸命挑戦し、この技を家族にも披露したいと、専門家の包丁さばきやこつを学びました。

